

地域活動専門員日誌

上郷小で防災学習



地域の消防屯所を見学する上郷小の3年生



上郷地区センター
防災担当
岩間 幸雄 さん

防災の日である9月1日、上郷小学校の防災学習で講師を務めました。児童は各学年ごとにテーマを決め、地域における災害危険個所の把握や防火・防災活動などについて学習。真剣なまなざしで授業を聞いていました。次代の担い手である子どもたちに防災教育を行っていくことは、大人の務めです。子どもが大人になった時、地域に防災文化がしっかりと根付いていることを願っています。

みらい創りカレッジ通信

学校の先生が対話を通じて議論

9月17日、遠野市社会科教員研修が行われました。市内小中学生の教師20人が参加。コミュニケーション方法の一つである「対話」を体験しました。今回は、「自ら社会に関わる子どもを育てるには」がテーマ。子どもたちが、地域社会とどのように向き合っていくべきか、参加者は自分が子どもの頃の経験を踏まえながらアイデアを出し合い、議論を深めました。

対話を体験する参加者



2



3



4

1_素早いドリブルで攻める福田さん 2_豪快なシュートがさく裂！ 3_児童たちはサッカーボールに触れ合う楽しさを学びました 4_教室終了後には笑顔でハイタッチ！



1

元プロ選手と夢のプレー 附馬牛小でサッカー教室

復興支援のサッカー教室「JFA・キリンスマイルフィールド」(キリングループ主催)は9月9日、附馬牛小で開催されサッカー元日本代表の福田正博さんと全校児童50人は、サッカーを通じて交流を深めました。教室ではボールを使ったシュート練習やミニゲームなどが行われ、児童たちは目を輝かせながら果敢にプレー。福田さんが華麗なドリブルやシュートを決めると、会場からは大きな歓声が上がりました。佐々木柊翔君(6年)は「福田さんの格好良いプレーに感動。サッカーがますます好きになりました」と笑顔で話しました。



海の幸、お届けします！

風の丘に沿岸企業が出店

鎌田水産(大船渡市、鎌田仁社長)は9月7日、遠野風の丘にアンテナショップ「漁師の魚屋」を出店し、その開店式は同日、現地で行われました。餅まきや焼きサンマの無料提供などのイベントが行われ、関係者や観光客ら約300人は、沿岸と内陸を結ぶ新たな交流拠点の船出を祝いました。同店は、大船渡漁港で水揚げされる魚介類や加工品のほか、ホタテやカキの浜焼きなども販売。店内ではカキの養殖などを映像で紹介し、食育にも取り組みます。同社の鎌田和昭会長は「海の幸と沿岸の元気を届けられるよう頑張りたい」と意気込みました。

1_店内には海の幸がズラリ。食育に関するVTRも放映します 2_テープカットで開店を祝う関係者 3_餅まきでは、餅と一緒に加工品も！ 4_会場には焼きサンマの美味しい香りが漂っていました



2



3



4



2



3

1_県の防災ヘリが救助訓練を実施。見学会も行われました 2_気分はすっかり消防士 3_親子で心肺蘇生法を学びます 4_地震体験では、震度7の怖さを体感 5_ロープ渡りに挑戦する児童

熱い思いを言葉に込めて

「わたしの主張」大会開催

第16回わたしの主張遠野地区大会(同実行委員会主催)は9月3日、遠野東中学校で開催されました。市内中学校から9人が出場。発表者は、学校生活で感じた仲間の大切さや将来の夢、社会に対しての意見などを堂々と発表しました。最優秀賞を受賞した佐藤穂乃佳さん(遠野東中3年)は『この壁を越えて』と題し、乳がんで亡くなった母との思い出や母から託された言葉を振り返ることで、苦悩を乗り越えた経験を述べ、命の尊さについて主張。「どんなに高く険しい壁でも私は決して諦めない。母から託された大事な命で一生懸命歩いていく」と力強く決意しました。



一生懸命歩いていくと決意する佐藤さん



夢を持つ素晴らしさを訴える高橋さん

夢を持つパワーは無限大

プロボクサーが夢の教室

JFAこころのプロジェクト・遠野わらすっこ「夢の教室」(日本サッカー協会主催)は8月27日、遠野北小学校で開かれ、東洋太平洋クルーザー級元王者のプロボクサー高橋良輔さんが5年生62人に特別授業を行いました。

体育館ではゲームなどを行い、チームワークの大切さを指導。教室では、高橋さんが挫折を乗り越えてチャンピオンベルトをつかみ取るまでの経験を語り「夢は、自分を信じる勇気と努力を重ねるパワーになる」と夢を持つ素晴らしさを訴えました。佐々木直大君は「大工になる夢をかためるため、努力を大切にしたい」と目を輝かせました。